

二之江中学校

アレルギー緊急時対応マニュアル

参考資料

東京都教育委員会 平成25年7月（平成29年3月改定）

「アレルギー緊急時対応マニュアル」

生徒が、下記の状態である場合（可能性を含む）には
本マニュアルに沿って対応する。

- ①アレルギー症状がある。
- ②原因食品を食べた。
- ③原因食品に触れた。

アレルギー症状

緊急性の高いアレルギー症状

全身の症状

- ・意識がない
- ・意識もうろう
- ・ぐったり
- ・尿、便を漏らす
- ・脈が触れにくい
- ・唇や爪が青白い

呼吸器の症状

- ・声がかすれる
- ・犬が吠えるような咳
- ・喉や胸が締め付けられる
- ・息がしにくい
- ・持続する強いせき込み
- ・ゼーゼーする呼吸

消化器の症状

- ・持続する強いお腹の痛み
（我慢できないほど）
- ・繰り返し吐き続ける

皮膚の症状

- ・かゆみ
- ・じんましん
- ・赤くなる

顔面・目・口・鼻の症状

- ・顔面の腫れ
- ・口の中の違和感、唇の腫れ
- ・目のかゆみや充血、まぶたの腫れ
- ・くしゃみ、鼻水、鼻づまり

3

発見者

- ①生徒から目を離さない。
- ②助けを呼ぶ。【教職員・校長（副校長）・養護教諭】
「〇〇さんのアレルギー対応を〇〇（場所）でしています。
すぐに来てください。」と明確に伝えるように指示する。
- ③本人の鞆・AEDを持ってくるように指示する。

用意するもの

- ①本人の鞆（教室前廊下、鞆棚左上、氏名表示）
エピペン・内服薬が入っている。
- ③AED （主事室入ってすぐ左）
- ④アレルギー対応緊急マニュアル
（生徒写真の引出奥）
- ⑤アレルギー生徒情報ファイル
（生徒写真の引出奥）

反応がなく、呼吸がなければ心肺蘇生を行う。

心肺蘇生とAEDの手順

- ①肩をたたいて大声で呼びかける。
→反応なし
- ②119番に通報、AEDを持ってくる。
- ③呼吸の確認（10秒以内で実施）
→普段どおりの呼吸をしていない
- ④胸骨圧迫30回、人工呼吸2回を繰り返す
- ⑤AEDが到着次第、装着しAEDのメッセージに従う。

緊急性の高いアレルギー症状の場合は

- ①ただちにエピペンを使用する。
 - ②救急車を要請する。
 - ③その場で安静にさせ、救急隊を待つ。
 - ④可能なら内服薬を飲ませる。
- エピペンをうち 10~15 分後に症状の改善が見られなければ、次のエピペンを使用する。
(2 本以上持っている場合)

エピペン所持

緊急性の高いアレルギー症状がない場合は

- ①内服薬を飲ませる。
- ②保健室または、安静にできる場所へ移動する。
- ③5分ごとに症状を観察し、症状チェックシートに従い判断する。
- ④緊急性の高いアレルギー症状の出現に注意する。

駆けつけた教職員は下記のとおり、役割分担し対応する。

教職員

教職員 A（準備係） → **症状チェックシートを使用する。**

- ①アレルギー緊急時対応マニュアル（二之江中学校）
アレルギー生徒情報ファイル
を持ち、すぐに対応場所に駆けつける。
（保管場所：生徒写真の引出奥）
- ②エピペン・内服薬・AED の確認、準備をする。
- ③エピペンの使用、介助を行う。

教職員 B（連絡係） → **救急要請のポイントを使用する。**

- ①校長（副校長）、養護教諭未到着の場合は呼びに行く。
- ②救急車を要請する。
- ③保護者へ連絡する。
- ④校内放送で人を集める。
「アレルギー対応です。教職員は〇〇へ集合してください。※繰り返す」

教職員 C（記録係） → **記録用紙を使用する。**

- ①観察を開始した時刻を記録
- ②エピペンを使用した時刻を記録
- ③内服薬を飲んだ時刻を記録
- ④5 分ごとに症状を記録

他の教職員（その他）

- ①他の生徒への対応（教室内で対応しているときは他の教室へ誘導する。）
- ②救急車の誘導
- ③エピペンの使用または解除
- ④心肺蘇生や AED の使用

校長（副校長）

- ①現場に到着次第、リーダーとなる。
- ②エピペンの使用、介助を行う。

症状チェックシート

◆症状は急激に変化することがあるため、5分ごとに、注意深く症状を観察する

◆ の症状が1つでもあてはまる場合、エピペン[®]を使用する

(内服薬を飲んだ後にエピペン[®]を使用しても問題ない)

観察を開始した時刻(時 分) 内服した時刻(時 分) エピペン[®]を使用した時刻(時 分)

全身の
症状

- ぐったり
- 意識もうろう
- 尿や便を漏らす
- 脈が触れにくいまたは不規則
- 唇や爪が青白い

呼吸器
の症状

- のどや胸が締め付けられる
- 声がかすれる
- 犬が吠えるような咳
- 息がしにくい
- 持続する強い咳き込み
- ゼーゼーする呼吸

- 数回の軽い咳

消化器
の症状

- 持続する強い(がまんできない)お腹の痛み
- 繰り返し吐き続ける

- 中等度のお腹の痛み
- 1～2回のおう吐
- 1～2回の下痢

- 軽いお腹の痛み(がまんできる)
- 吐き気

目・口・
鼻・顔面
の症状

- 顔全体の腫れ
- まぶたの腫れ

- 目のかゆみ、充血
- 口の中の違和感、唇の腫れ
- くしゃみ、鼻水、鼻づまり

皮膚の
症状

- 強いかゆみ
- 全身に広がるじんま疹
- 全身が真っ赤

- 軽度のかゆみ
- 数個のじんま疹
- 部分的な赤み

上記の症状が
1つでもあてはまる場合

1つでもあてはまる場合

1つでもあてはまる場合

- ①ただちにエピペン[®]を使用する
- ②救急車を要請する(119番通報)
- ③その場で安静を保つ
(立たせたり、歩かせたりしない)
- ④その場で救急隊を待つ
- ⑤可能なら内服薬を飲ませる

ただちに救急車で
医療機関へ搬送

- ①内服薬を飲ませ、エピペン[®]を準備する
- ②速やかに医療機関を受診する
(救急車の要請も考慮)
- ③医療機関に到着するまで、5分ごとに症状の変化を観察し、 の症状が1つでもあてはまる場合、エピペン[®]を使用する

速やかに
医療機関を受診

- ①内服薬を飲ませる
- ②少なくとも1時間は5分ごとに症状の変化を観察し、症状の改善がみられない場合は医療機関を受診する

安静にし、
注意深く経過観察

記録用紙（緊急時対応記録）

生徒名	
-----	--

記録者名					
食べた（触れた）時刻		月	日	／	時 分
食べた（触れた）状況		食べたもの（ ） 量（ ）			
処 置	緊急時処方薬	時 分			
	エピペン使用	時 分			
	その他				
救急車	連絡時刻	時	分	到着時刻	時 分
医療機関		時	分		時 分
保護者		時	分		
経 過	時刻	内容			
	時 分				
その他					

救急要請のポイント

① 119番にかける。

② 救急です。

③ 江戸川区春江町5-3-1
江戸川区立二之江中学校です。

④ 中学 ○ 年の

生徒が

原因と思われる食材 を食べて

生徒の状態 な状況です。

服薬は処方薬飲んだか・飲めないか・ないかです。

エピペン は 使用したか・ないか です。

⑤ 私の名前は _____ です。

連絡先は 03 - 3686 - 2281 です。